

大観

龍王峡の中間まで進むと、川の右側の岸に「大観」と呼ばれるスポットがあります。その名が示す通り、大観からは上流に向かって曲がりくねる龍王峡の広いパノラマの景色が望めます。ここは、渓谷の全容を把握し、その名の由来を理解するのに最適の場所です。大観は、渓谷中間部の「青龍峡」と呼ばれる区間にあり、そこは主に火山岩と火山灰が混ざってできた緑色凝灰岩からなり、渓谷の崖面が独特の青みがかった緑色をしています。